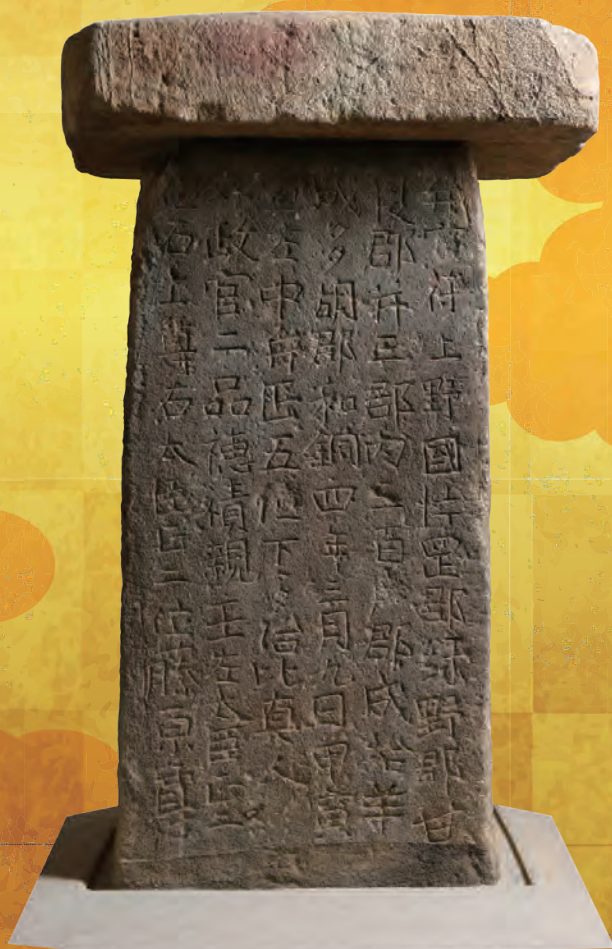


群馬 ビルメンニュース

2026
No. 55
新年号



「む」 昔を語る多胡の古碑
提供：高崎市教育委員会



令和8年1月1日発行

一般社団法人 群馬県ビルメンテナンス協会



永年にわたり大変お世話になりました

(一社)群馬県ビルメンテナンス協会
村田 茂行

平成4年5月より、一般社団法人 群馬県ビルメンテナンス協会の会長としてお世話になり、早いもので33年が経過いたしました。在任中は、会員の皆様をはじめ、多くの関係者の方々に温かいご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年11月27日に理事会を開催し、会長職を福田理事へ引き継ぐこととなりました。これまで同様のご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、話題は変わりますが、昨年10月に開催されたアビリンピック全国大会「ビルクリーニング部門」において、伊勢崎高等特別支援学校の選手が見事優勝を果たされました。昨年度の群馬県代表は準優勝という結果でしたが、今回はそれを上回る大変素晴らしい快挙となりました。

この成果は、7月に行われた群馬県大会以前から、協会講師が他校の選手も含めて指導にあたったことや、協会における合同練習を重ねてきたことの積み重ねによるものです。県大会で優勝後も、全国大会に向けて協会講師が学校へ出向いて指導を行い、昨年度の準優勝を意識してプレッシャーとすることなく、選手本人も黙々と努力を重ねていました。

私自身、これまで全国大会の応援に赴いたことがありますが、会場ではビルクリーニングのほか、電子機器組立、歯科技工、ワードプロセッサ、データベース、フラワーアレンジメント、コンピュータープログラミング、喫茶サービス、パソコン操作など、14種目において各都道府県予選を勝ち抜いた選手たちが技を競い合います。どの種目においても、選手の皆さんが真剣に、そして一生懸命に取り組んできたことが伝わり、大変感銘を受けました。

今回の優勝は、選手本人のたゆまぬ努力はもとより、指導にあたった学校関係者や協会講師、ご家族で支えてきた成果の結晶であると感じております。

本年も、生徒の皆さんが日々努力を重ねて技術を磨いたように、当協会も一つ一つの事業に誠実に取り組み、会員相互の連携を深めながら、より良い協会づくりを進めてまいりたいと考えております。引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



新任のご挨拶

群馬県ビルメンテナンス協同組合
理事長 山田 実

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのこと
と心よりお慶び申し上げます。

このたび、理事会の決議により、群馬県ビルメンテナンス協同
組合の代表理事を拝命することとなりました。これまでの皆様

のご協力、ご支援に心より感謝申し上げます。

1989年に設立した当組合は、業界の発展と組合員相互の連携を目的として、清掃・衛生・設備
管理などさまざまな分野で組合での受注を続けてまいりました。

私自身、これまで理事の一人として関わってまいりましたが、今回このような大役をお引き受けす
ることになり、身の引き締まる思いと同時に、「皆さんとともに歩んでいきたい」という気持ちでいっ
ぱいです。

近年、社会全体が大きく変化する中で、ビルメンテナンス業界にも柔軟な対応や新たな発想が
求められる場面が増えています。人材不足や高齢化、技術革新など、課題は決して少なくありませ
んが、だからこそ組合員の皆さまと手を取り合い、知恵と工夫で乗り越えていける協同組合にした
いと考えております。

また、組合員企業の皆さま同士が気軽に意見交換できる場や、若手や次世代につながる人材育成
の仕組みづくりにも力を入れていきたいと思えます。

今まで築いてこられた組合の歩みを大切にしながら、新しい風を少しずつ吹き込んでいけるよう
努力してまいります。

まだまだ至らぬ点もあるかと存じますが、どうぞ温かく見守っていただき、今後ともご指導・ご鞭
撻を賜りますようお願い申し上げます。



令和7年度群馬県当初予算に対する我が業界の要望書について

日頃より当協会・組合の事業活動にご理解とご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

さて、近年の物価上昇、最低賃金の引上げ、さらには国土交通省が公表している「建築保全業務労務単価の清掃・設備・警備」の上昇等を受け、現場の実情に見合った発注価格の確保が大変難しく重要な問題であり課題となっております。

このため、当協会・組合では「ビルメンテナンス業務に係る発注関係事務の運用に関するガイドライン」を参考に「令和8年度群馬県当初予算に対する重点要望事項」として自由民主党群馬県支部連合会の政調懇談会に出席し陳情を申し上げました。

当協会・組合の参加者は村田会長、塚田理事長、福田副会長、大手の4人が参加しました。最初に当協会会長より本ガイドラインの発注者側の遵守すべく各項目の案内等説明をし、その後県発注側の県会議員・各課行政の担当者との質問、返答等実施の中で当協会としては、下記4点の事項を要望説明しました。

1 ビルメンテナンス業務に係る発注関係事務の運用に関するガイドラインの遵守

- ・我々の業務に対し、予算の確保を行い、発注金額の適正なアップをし、適正な価格転嫁を促進していただきたい。併せて公機関は出先にも国、県の方針をしっかりと伝えてほしい。
- ・方針の完全実施をお願いしたい。

2 最低賃金の上昇（昨年対比7.9%アップに対しての価格転嫁の依頼）

- ・予定価格の作成を国土交通省が示す「建築保全業務労務単価」を使用し作成していただきたい。また、入札にあたっては、低入札価格調査制度の導入、あわせて最低制限価格制度を積極的に取り入れていただきたい。これはダンピング業者の排除にもつながる。
- ・毎年、最低賃金が大幅に改訂されるが、契約金額の見直しのため、協議に応じてほしい。そのため、毎年4月に交わされる契約書の条項に協議を行う旨の条項を入れてほしい。

3 最低制限価格の設定（入札の際の最低制限価格は予算の90%以上）

4 障害者支援の就労支援（今年度アビリンピック全国大会で群馬県が金賞）

以上ですが、今年度も群馬県担当部局へガイドラインを参考にいただき、是非とも予定価格の適正化、価格転嫁への理解促進へ少しでも前進いただけるようお願いしました。

終わりに、会員皆様の声を代表して毎年要望・陳情をしています。当ビルメンテナンス協会・組合の発展と働く人々の処遇改善に向け、引き続き行政との意見交換・陳情は協議継続していきたいと考えてますので、ご支援の程宜しくお願い致します。

注：「ビルメンテナンス業務に係る発注関係事務の運用に係るガイドライン」は右記の通りです

ビルメンテナンス業務に係る発注関係事務の運用に関するガイドライン 改正案の概要（令和7年9月）

- 各発注者（ビルメンテナンス業務を発注する国、特殊法人等及び地方公共団体）がビルメンテナンス業務に関する発注関係事務を適切に実施するために、維持管理計画策定、業務発注準備、入札契約、業務実施、業務完了後の各段階で、取り組む事項についてとりまとめたもの。（前回改正は令和5年4月28日）※主としてビルなどの建築物を対象として、建築物等の点検・保守、運転、監視、衛生管理その他の維持管理に関する業務
- 各発注者は本ガイドラインを参考にしつつ、発注関係事務を行う。
- 「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」（令和5年11月。内閣府、公正取引委員会、以下「労務費指針」という。）の策定を始めとした賃上げ及び取引適正化に係る各政策と、実情への様々な要望（発注者側の予算確保を求める受注者側の声が多い）を受け、関係箇所（赤字）を改正する。

（1）維持管理計画策定段階 （2）予算編成段階 （3）業務発注準備段階 （4）入札契約段階 （5）業務実施段階 （6）業務完了後段階

1. 本ガイドラインの位置づけ <ul style="list-style-type: none">本ガイドラインは、公共工事の品質確保の促進に関する法律第24条の規定に基づく運用指針において、ビルメンテナンス業務の発注に活用するよう記載されている労務費率が高いビルメンにおいては特に労務費の価格転嫁が重要（労務費指針）	（4）入札契約段階 <ul style="list-style-type: none">適切な競争参加資格の設定、ダンピング受注の防止低入札価格調査制度の調査実施時は、実効性を確保できるよう、入札価格の内訳の開示や、労務費等がその内訳に反映されているかの確認をすること契約書におけるスライド条項の記載賃金水準等の変動に応じた契約金額の変更の取り決めについて、迅速かつ適切に協議を行えるよう、契約書にスライド条項を予め記載することスライド条項がない契約であっても、労務費高騰時の価格交渉に伴う協議は可能であること入札不適合・不落時の見解の活用等公正性・透明性の確保、不正行為の排除再委託の適正化
2. 発注関係事務の運用指針について <ul style="list-style-type: none">（1）維持管理計画策定段階<ul style="list-style-type: none">維持管理計画の策定維持管理計画の整備（2）予算編成段階<ul style="list-style-type: none">価格調定一般における予算と予定価格予定価格の算出にあたっては、当該役務の特性を考慮した適正な方法によるべきであること適正な予定価格の設定は、必要となる予算確保が必要であることビルメンテナンス業務の特性を踏まえた予算の取組以下2点を踏まえた算出が求められること<ul style="list-style-type: none">労務費割合が大きいこと算出を行う際に、国土交通省が公表する技術基準を適用すること労務費等の上昇を見込んだ予算を確保すること単年度契約であることのみを理由に価格交渉に伴う協議をしないことは、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律に抵触するおそれがあることPT事業や協定管理費制度において、人員費（委託料含む）高騰を見越した予算を算出すること（3）業務発注準備段階<ul style="list-style-type: none">契約の性格に応じた入札契約方式の選択総合評価方式の導入に係る事前準備現場条件等を踏まえた適切な仕様書の作成仕様書等に記載されていない役務を受注者に無償提供させることはできないこと状況に応じた労働費率の算定適正な発注時期の設定等	（5）業務実施段階 <ul style="list-style-type: none">労務費等の上昇に伴う価格転嫁への対応労務費指針「発注者として取るべき/求められる行動」を踏まえた対応に努めること年度途中の賃金水準や物価水準の変動に応じた契約金額の変更について協議を行うこと（両当事がある場合はプライゼーション全体を考慮した協議を行う）発注者から定期的に労務費の転嫁について協議の場を設けることが望ましいこと労務費指針が示す公表資料に基づく価格を尊重すること協議に応じないことは発注禁止等の懲罰的地位の適用となるおそれがあること契約変更に係る発注者側は決定後まで上げること業務履行条件の変化等に応じた適切な仕様書の変更業務履行中の実施状況の確認等維持管理に関する情報共有 （6）業務完了後段階 <ul style="list-style-type: none">業務完了後の適切な履行検査・評価等施設機能に関する確認
3. 発注関係事務の運用指針 <ul style="list-style-type: none">発注関係事務を適切に実施するための体制整備、職員の育成、情報交換等	

事業報告

【 各種講習会 】

[受講者数]

● 清掃作業従事者研修会(前橋会場)	9月10日	20名
● 清掃作業従事者研修指導者講習会	11月12日	13名
● 積算見積り研修会	11月19日	9名
● 清掃作業従事者研修会(太田会場)	12月 3日	6名

【 その他事業・厚生事業 】

[参加者数]

● 安全衛生パトロール(群馬県民会館)	7月 1日	
● 第13回ボウリング大会	9月12日	53名
● 第25回安全衛生大会	10月 6日	77名
● GBK杯 ゴルフ倶楽部我山	11月 5日	24名

【 ビル設備管理コース委託訓練 】

● 前橋産業技術専門校委託	7月24日～10月24日	訓練生15名
---------------	--------------	--------

【 長寿社会づくり財団委託事業 】

● 清掃スタッフ講習 (太田会場)	7月 8日
● お店スタッフ講習 (前橋会場)	7月17日
● 清掃スタッフ講習 (館林会場)	7月29日
● 清掃スタッフ講習 (伊勢崎会場)	8月 7日
● 家事支援講習 (伊勢崎会場)	8月 8日
● 清掃スタッフ講習 (みどり市会場)	9月 4日

【 障がい者支援事業 】

● ぐんまアビリンピック大会事前訓練	6月18日・25日・7月 2日
● ぐんまアビリンピック2024	7月 5日
● 全国アビリンピック大会事前訓練	10月10日
● ビルクリーニング学習指導 館林高等特別支援学校	11月26日
● ビルクリーニング学習指導 高崎高等特別支援学校	12月23日

第45回全国障がい者技能競技会(アビリンピック)にて金賞!

このたび、第45回全国アビリンピックにおいて見事「金賞」を受賞された伊勢崎高等特別支援学校の栗原恋夏さんが、12月15日に協会事務局へ受賞の報告に訪れてくださいました。

栗原さんは、まずアビリンピック群馬県大会で優勝され、その実績をもって全国大会へ出場されました。大会に向けた事前練習は、会員企業の皆さまのご協力のもと、実技指導など実践的なサポートを行ってまいりました。今回の金賞受賞は、私たちも大変嬉しく、誇らしい気持ちになりました。今後も、支援学校への技能向上と社会参加を応援する取り組みを続けてまいりたいと思います。



令和7年度安全衛生大会を終えて

青年部代表幹事／折茂 良一

令和7年10月6日、爽やかな秋晴れのもと、令和7年度労働安全衛生大会を開催いたしました。今年度は会場変更もあり、準備の面で不安もありましたが、天田事務局長や大手専務理事をはじめ、青年部一同の緊密な連携のもと、全プログラムを滞りなく終えることができました。ご協力いただいた関係者の皆様に、心より厚く御礼申し上げます。

大会冒頭では村田会長によるご挨拶の後、来賓として群馬労働局健康安全課の穂積様よりご祝辞を賜りました。ご講話では、全国および県内における労働災害発生状況の最新データが示されるとともに、「安全は常に最優先である」という力強いメッセージが参加者に共有され、会場全体が一層引き締まる思いとなりました。

恒例の安全衛生標語コンクールでは、各社から寄せられた作品のレベルが年々向上しており、参加各社の安全意識の高まりを改めて実感しました。また、「優良安全衛生管理者表彰」、「ヒヤリハット事例発表」も行われ、受賞者や発表者による日々の地道な努力が紹介されました。こうした小さな気づきの積み重ねこそが、大きな事故を未然に防ぐ力になることを、参加者全員で再確認いたしました。

特別講演では、共愛学園前橋国際大学短期大学部非常勤講師・尾上治子先生をお招きし、「災害時に役立つ食を考える」と題したご講話をいただきました。非常時の初動対応や情報整理の手順、平時からの備えの重要性について具体的な事例を交えながら解説いただき、防災意識を日々の行動に結びつけることの大切さを改めて学ぶ貴重な機会となりました。

大会の最後には、大会宣言を満場一致で採択いたしました。労働災害ゼロを目指して、安全の重要性を再確認する有意義な時間となったことをご報告いたします。

本大会が各社における安全活動をさらに推進する契機となり、令和8年も無事故・無災害で新年のスタートを切れることを心より願っております。今一度職場の安全を見つめ直すきっかけとしていただけたら幸いです。

安全衛生大会標語

最優秀
作品

危険予知 だらうはやめて
かもしれない 危険を予知する プロ意識

太陽ビルサービス(株)／堀越 貞行



優秀作品

災害の危険は慣れと過信から
想定内は過去のものさし

オオラ美装(株)／金井 美咲季

飲みすぎ食べすぎ気を付けて
ムリせず続ける運動習慣

グローブシップ(株)北関東支店群馬営業所／長沼 未来

気のゆるみ ゆとりを持って 再チェック
みんなで改善 安全職場

(株)群馬総合ファシリティーズ／高野 咲代美

視点を変えて危険予知
皆で目指そう 安全職場

ケービックス(株)／藤生 麻由子

安全と健康、
一人ひとりの心がけ

テルウェル東日本(株)群馬支店／鈴鹿 桐子

安全第一 ゼロ災害
みんなの幸せ 笑顔で帰宅

東朋産業(株)／柴崎 美徳

安全は、正しい手順と指差し呼称、
慌てず、焦らず、余裕をもって

東洋ポリーズ(株)／坪井 真由美

慣れた作業、初心忘れず、
指差し呼称で事故防止

藤田テクノ(株)／友野 康史

慣れた頃 油断が招く現場事故
小さな違和感 見逃すな!

藤田テクノ(株)／松田 純明

優良安全衛生管理者

- テルウェル東日本(株)群馬支店／坂本 由起子
- 東朋産業(株)／岡田 文男
- 東洋ポリーズ(株)／DO THI NGA

ヒヤリハット体験事例発表

- 東朋産業(株)／宮沢 弘泰
- 東洋ポリーズ(株)／渡辺 雅幸



大会宣言

労働災害の根絶と労働者の心身の健康確保は、私たち働く者にとって究極の願いです。この目標に向け、関係者の不断の努力が続けられていますが、令和6年の全国における労働災害の死傷者数は135,718人、死亡者数は746人となりました。

労働者の健康に関しては、仕事や職業生活に関する不安や悩み、ストレスを抱える労働者が増加していることや、働き方の変化による影響について、今後も注視していく必要があります。また、化学物質による健康障害の防止対策や、病気を抱える労働者の治療と仕事の両立は、依然として大きな課題です。

私たちは、どんなに困難であっても「安全と健康の確保はすべてに優先する課題」であることを再認識し、組織トップのリーダーシップのもと、効果的な労働災害防止対策を計画的かつ継続的に推進し、労働災害の根絶に向けて努力を続けていかなければなりません。

本大会を契機として、参加者一人ひとりが原点に立ち返り、人命尊重の基本理念を改めて確認し、安全で健康的かつ快適な職場づくりに全力を尽くすことを、ここに宣言いたします。



GBK杯に優勝して

このGBK杯、今回から集計を誰でも賞に絡むチャンスのあるダブルリペリア方式で開催され、たまたま私がハンディキャップに恵まれ優勝することが出来ました。

“優勝”の響きは、聞き心地が良く大変うれしい気持ちに浸っております。



このGBK杯、もう74回目の開催になるそうで長い歴史を感じます。

これからも続けていただき、皆様の健康を含め、余暇を充実するための機会と心地よい響きを味わっていただきたいと思います。

私もまた次を期待し頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。
有難うございました。



(株)KAN・KYOホールディングス／塚田 且美

第13回ボウリング大会に参加させていただいて

この度はボウリング大会で優勝することができ、大変光栄に思います。

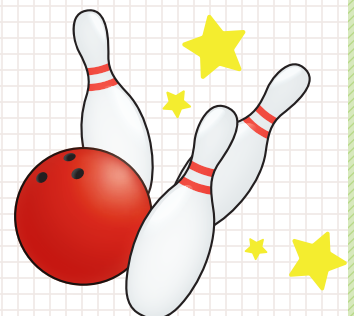
正直、最初はここまで結果を残せるとは思っていませんでしたが、最後まで諦めずに集中できたこと、そして何よりチームや周囲の皆さんの声援が大きな力になりました。

スポーツを通して普段とは違う一面を見せ合い、笑い合えたこの時間はとても貴重でした。

次回もこの良い流れを続けて、みんなで楽しみながら上位を狙っていければと思います。



大和メンテナンス(株)／藤生 太佑



2026年

謹賀新年



代表取締役
伊藤 幹 泰

〒374-0132
邑楽郡板倉町大字板倉一七六三ー一
TEL0276181105六八
FAX027618213八〇〇

オオラ美装(株)

代表取締役
岡 田 勇 一

〒370-0616
邑楽郡邑楽町光善寺四五ー一七
TEL0276181810二六
FAX0276181810六七六

(株)KAN・KYOホールディングス
取締役会長
塚 田 且 美

〒370-0886
高崎市下大島町六二六
TEL027134311二六七
FAX027138210九七七

(株)群馬中央ビルサービス(株)

代表取締役
島 岡 礼 子

〒379-0112
安中市岩井五九八ー一
TEL027138111三八三九
FAX027138211三一四

(株)群馬総合ファシリティーズ

代表取締役社長
小 板 橋 信 也

〒371-0023
前橋市本町二丁目一三一ー一
TEL027123311三〇〇
FAX027123311三〇〇

グローブシップ(株)北関東支店群馬営業所

支店長
木 村 比 呂 志

〒371-0024
前橋市表町二丁目九明舎安田生命前橋表町ビル4F
TEL027121117二八八
FAX027121114二二九

協同整美(有)

代表取締役
田 中 賢 司

〒370-0862
高崎市片岡町一丁目一ー一三
TEL027132614七五一
FAX0271324110五六

(株)シムックス

代表取締役
深 澤 賢 治

〒373-0014
太田市植木町三〇〇ー一
TEL027614011二二
FAX027614011二二〇

(株)壽総業

代表取締役
鈴 木 久 乃

〒377-0005
波川市有馬二六七六ー一
TEL027912112二二
FAX027912112二四

ケービックス(株)

代表取締役
井 上 哲 孝

〒371-0855
前橋市問屋町一丁目一〇ー三
TEL027125313六二四
FAX027125118九七七

(株)グンビル

代表取締役
高 野 こ ず え

〒372-0039
伊勢崎市ひろせ町四〇八八ー二
TEL027012311二二四
FAX027012311五〇九七



(有)太陽美装

代表取締役
横澤 勝

〒371-0113
前橋市富士見町添窪一〇二七
TEL〇二七二八八七三二五
FAX〇二七二八八七三二〇

太平ビルサービス(株)前橋支店

支店長
長谷 美告

〒371-0024
前橋市表町二二六 前橋アストルデイズ八F
TEL〇二七二二二二二二〇
FAX〇二七二二二二二二〇

(株)伸光

代表取締役
荒木 伸也

〒372-0015
伊勢崎市鹿島町四四〇一
TEL〇二七〇一一九九一五
FAX〇二七〇一一九九〇三

上毛資源(株)

代表取締役
佐伯 一

〒371-0857
前橋市高井町一〇一三
TEL〇二七二五一一七三九五
FAX〇二七二五一一七三三七

東京ワックス(株)群馬営業所

代表取締役
古郡 潔

〒373-0033
太田市西本町六一六
TEL〇四八八五七三一〇二
FAX〇四八八五七一三三八六

(有)トータルワークサービス

代表取締役
増田 明男

〒379-0127
安中市磯部三六一一〇
TEL〇二七三三五五五六八六
FAX〇二七三三五五五六九七

テルウエル東日本(株)群馬支店

支店長
板野 一弘

〒370-0829
高崎市高松町三
TEL〇二七三二二〇七二七
FAX〇二七三二二〇六七七五

太陽ビルサービス(株)

代表取締役
今井 徹也

〒371-0018
前橋市三俣町一〇四一
TEL〇二七二二七三三三一一
FAX〇二七二二七三三三〇〇

中西工業(株)

代表取締役
中西 栄介

〒372-0823
伊勢崎市今井町七三二一
TEL〇二七〇一二五五九〇〇
FAX〇二七〇一二五五九六九

東洋ポリーズ(株)

代表取締役
福田 雅之

〒376-0021
桐生市巴町二一八一
TEL〇二七七四四一四四一四
FAX〇二七七四四一四四六一

(株)東毛ビルサービス

代表取締役
川島 徹

〒374-0033
館林市堀工町一〇九五
TEL〇二七六二七五二六六五
FAX〇二七六二七五二六二七

東朋産業(株)

代表取締役
村田 茂行

〒371-0858
前橋市総社町桜が丘一二二五
TEL〇二七二五三三八二六〇
FAX〇二七二五三三八二八四

平成警備(株)

代表取締役
中野 和雄

〒372-0801
伊勢崎市宮子町三二〇九
TEL〇二七〇一二一〇八三七
FAX〇二七〇一二一五〇〇七

藤田テクノ(株)

代表取締役
藤田 実

〒370-0069
高崎市飯塚町一一七四
TEL〇二七三六一一八一
FAX〇二七三六一一九二二

(株)ビー・エム・シー

代表取締役
内田 岳一

〒379-2123
前橋市山王町二二四一九
TEL〇二七二六七一〇八二六
FAX〇二七二六七一〇三〇五

(株)ビル・メン

代表取締役
高橋 弘史

〒379-2311
みどり市等郷町阿佐美二七一
TEL〇二七七七一三三八二
FAX〇二七七七一三三八二

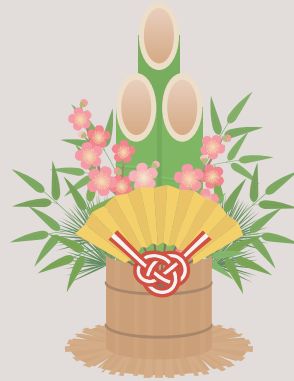


マルイ暖冷(株)
代表取締役
根岸 泉

〒372-0014
伊勢崎市昭和町三六七-1124
TEL0270-2612023
FAX0270-2110034

大和メンテナンス(株)
代表取締役社長
富所 忠良

〒371-0844
前橋市古市町三四六
TEL0271-2901-854
FAX0271-2901-889



イカリ消毒前橋(株)
代表取締役
喜楽 友洋

〒371-0017
前橋市日吉町四1-1133
TEL0271-2331-3540
FAX0271-2331-3541

関東ケミカ(株)
代表取締役
設楽 勝一

〒370-0002
高崎市日高町四二二
TEL0271-361-1854
FAX0271-361-16525



(株)GUNSHO 前橋営業所
代表取締役
岩井 和美

〒371-0018
前橋市三俣町三一五-10
TEL0271-28919082
FAX0271-28919083

三洋商事(株)
代表取締役社長
都丸 聡

〒371-0845
前橋市島羽町三四1-1
TEL0271-2531-2154
FAX0271-251-18563

上毛警備防疫(株)
代表取締役
石原 毅

〒372-0801
伊勢崎市宮子町三一三六
TEL0271-2314000
FAX0271-261-1605



シーバイエス(株)
代表取締役
諸星 重文

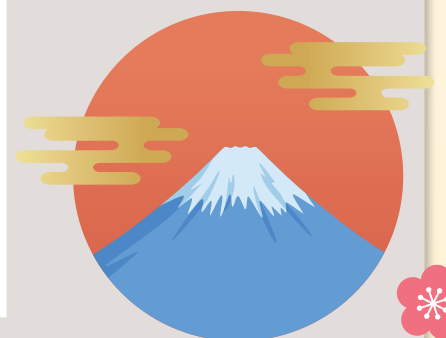
〒231-0023
神奈川県横浜市中区山下町二二
TEL045-2771-934
FAX045-2771-944

ペンギンワックス(株)
代表取締役
藤本 公祥

〒537-0021
大阪市東成区東本三101-14
TEL06-6973-1913
FAX06-6973-1914

(株)リンレイ
代表取締役社長
鈴木 信也

〒104-0061
東京都中央区銀座四101-13
TEL03-3543-1281
FAX03-354610384



このたび、当協会理事である富岡政明氏が「旭日小綬章」を受章されました。長年にわたり社会保険労務士として人事・労務管理の専門的立場から地域の企業を支え、労働環境の整備や制度運用の適正化に尽力されてきた功績が高く評価されたものです。

富岡氏は、労働関係法令の普及啓発や社会保険制度の円滑な運用に大きく貢献され、事業者と働く人双方の立場に寄り添いながら、公正かつ健全な職場づくりを推進してられました。また、社会保険労務士協会の会長として、後進の育成や地域への支援事業にも力を注がれてきました。

今回の受章は、これまでの地道な取り組みが公的に認められたものであり、当協会にとっても大きな喜びです。ここに改めて深く敬意と祝意を表するとともに、今後ますますのご活躍を期待いたします。



お知らせ



1月～2月の研修会

病院清掃作業従事者講習会	1月28日(木) 群馬県ビルメンテナンス会館
貯水槽清掃作業従事者研修会	2月10日(火) 前橋商工会議所
防除作業従事者研修会	2月10日(火) 前橋商工会議所

詳しくはホームページをご覧ください。 <http://gunma-bma.or.jp/>

編集後記

8月の臨時総会において、協同組合の専務理事に大手氏が就任されました。大手氏は多くの現場経験を踏まえた的確な判断力と、会員との丁寧な対話を大切にされる姿勢が大きな魅力で、今後の事業展開において大きな力となっていただけるものと期待しています。

一方、事務局長に就任した私天田は、会員の皆様のために微力ながら協会運営を支えていきたいと思っています。新たな体制のもと、協会としてもより良い事業運営を目指してまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(事務局長：天田)

【表紙の説明】上毛かるたより「昔を語る多胡の古碑」

群馬県高崎市吉井町にある日本最古級の石碑で、国の特別史跡にも指定されているとても貴重な文化財です。

いつの時代の碑？

奈良時代の初め、和銅4年(711年)に建てられたとされています。1300年以上前です。

なぜ重要な？文字で歴史がわかる超貴重な碑

まだ紙の文書がほとんど残っていない時代に、確実に“711年の事実”を伝えてくれる資料だから。

「羊」という人物がなぞ多き存在

名前が中国系・西域系(ペルシャなど)の可能性があり古代上野国に渡来系の人がいた証拠？シルクロードの文化が群馬に？などロマンのある説で、歴史ファンを惹きつけています。

世界的に評価されている

多胡碑を含む上野三碑はユネスコ「世界の記憶(Memory of the World)」に登録されています。

